

株式会社日本格付研究所（JCR）は、以下のとおり信用格付の結果を公表します。

## フィデアホールディングス株式会社（証券コード:8713）

### 【据置】

長期発行体格付	BBB+
格付の見通し	安定的

## 株式会社荘内銀行（証券コード: -）

### 【据置】

長期発行体格付	BBB+
格付の見通し	安定的

## 株式会社北都銀行（証券コード: -）

### 【変更】

長期発行体格付	BBB → BBB+
格付の見通し	安定的

### ■格付事由

- フィデアホールディングス（フィデア HD）は、傘下に荘内銀行（山形県）と北都銀行（秋田県）を擁する広域金融グループの持株会社。グループ全体の資金量は 2.6 兆円と東北の地銀の中では中位の規模に相当する。近年は収益性の低い住宅ローンなどを抑制する一方、法個人一体営業体制によるコンサルティング営業を強化し地元の事業性貸出やフィービジネスの拡大に注力している。また店舗統合や営業店事務の効率化などを通じたコストマネジメントにも積極的に取り組んでいる。なお 22 年 10 月に株式交換により東北銀行（岩手県）がフィデア HD 傘下に加わる予定であり、経営統合作業の進捗や将来的なシナジー効果に注目していく。
- JCR ではグループ全体の信用力を「BBB+」相当と判断している。グループ全体の信用力には荘内銀行と北都銀行（2 行）合算ベースの収益力、資産の質、資本充実度などを反映している。2 行合算の基礎的な収益力には改善の余地があるものの、「BBB+」の地域金融機関としては相応の水準にある。貸出資産の質は概ね良好であり与信費用は抑制されている。有価証券運用にかかる金利や株価変動のリスク量は資本対比でやや大きい。比較的潤沢な評価益がリスクバッファとなりうる。グループ連結の調整後コア資本比率（貸倒引当金などを控除後、以下同じ）は 8%台と BBB レンジの地域金融機関の中では良好な水準にある。なお東北銀行との経営統合は、同行の財務状況などを踏まえると、グループ信用力に与える影響は現時点では限定的と JCR はみている。2 行の格付については、単独での損益・財務などの評価に加え、グループ全体の信用力およびグループ内での信用補完を反映している。北都銀行については単独での収益力や資本充実度の改善を踏まえ格付を 1 ノッチ引き上げた。フィデア HD の格付は、キャッシュフロー・バランスの安定性が保たれている点を踏まえ構造劣後性を反映していない。
- 荘内銀行は鶴岡市に本店を置く資金量 1.2 兆円の地方銀行。山形県を主要基盤とし、県内貸出金シェアは 2 割弱を占める。21/3 期のコア業務純益（投信解約損益を除く、以下同じ）は有価証券利息配当金の増加や経費削減などで大幅な増益となった。投資信託の償還益などが一時的に有価証券利息配当金を押し上げた面はあるが、それを除いても基礎的な収益力の低下には歯止めがかかりつつある。与信費用は一部の大口先要因を除けば抑制された水準で推移している。コロナ禍の影響には注意を要するが、大口問題先の処理が進んでいることなどから、当面の与信費用はコア業務純益で吸収可能と JCR はみている。調整後コ

ア資本比率は9%台と BBB レンジの中で高い水準にある。以上を踏まえ、JCR では荘内銀行の単独信用力を「BBB+」相当と評価しており、格付は単独信用力と同水準のグループ信用力を反映し「BBB+」としている。

- (4) 北都銀行は秋田市に本店を置く資金量 1.3 兆円の地方銀行。秋田県を主要基盤とし、県内の貸出金シェアは約 3 割を占める。21/3 期のコア業務純益は経費削減の進展などで JCR の想定を大きく上回り、2 期連続での増益となった。ROA（コア業務純益ベース）は 0.1%台後半に改善し、BBB レンジ内で遜色のない水準にある。今後も店舗統合などによる経費削減が見込まれることに加え、中小企業向け貸出の拡大により貸出金利息の減少幅が縮小しており、一定の収益力を維持可能と JCR はみている。金融再生法開示債権比率は長期的に改善しており、与信費用は抑制された水準で推移している。未保全額が収益対比で大きな業況不芳先が多い点などには注意を要するが、こうした先に対しては事業再生支援を積極的に行っており、当面の与信費用はコア業務純益で吸収可能とみられる。調整後コア資本比率は長期的に改善が進んでおり、足元では 8%台と BBB レンジ内では良好な水準にある。収益性の低い貸出の抑制などリスクアセットのコントロールに留意しており、現状程度のコア資本比率は維持可能とみられる。以上を踏まえ、北都銀行単独の信用力評価を「BBB+」相当に 1 ノッチ引き上げ、格付は単独信用力と同水準のグループ信用力を反映し「BBB+」とした。

(担当) 坂井 英和・古賀 一平

## ■格付対象

発行体：フィデアホールディングス株式会社

### 【据置】

対象	格付	見通し
長期発行体格付	BBB+	安定的

発行体：株式会社荘内銀行

### 【据置】

対象	格付	見通し
長期発行体格付	BBB+	安定的

発行体：株式会社北都銀行

### 【変更】

対象	格付	見通し
長期発行体格付	BBB+	安定的

## 格付提供方針に基づくその他開示事項

1. 信用格付を付与した年月日：2021年9月7日
2. 信用格付の付与について代表して責任を有する者：松村 省三  
主任格付アナリスト：坂井 英和
3. 評価の前提・等級基準：  
評価の前提および等級基準は、JCR のホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に「信用格付の種類と記号の定義」(2014年1月6日)として掲載している。
4. 信用格付の付与にかかる方法の概要：  
本件信用格付の付与にかかる方法の概要は、JCR のホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に、「コーポレート等の信用格付方法」(2014年11月7日)、「銀行等」(2014年5月8日)、「金融グループの持株会社および傘下会社の格付方法」(2019年3月29日)として掲載している。
5. 格付関係者：  
(発行体・債務者等) フィデアホールディングス株式会社  
株式会社荘内銀行  
株式会社北都銀行
6. 本件信用格付の前提・意義・限界：  
本件信用格付は、格付対象となる債務について約定通り履行される確実性の程度をもって示すものである。  
本件信用格付は、債務履行の確実性の程度に関しての JCR の現時点での総合的な意見の表明であり、当該確実性の程度を完全に表示しているものではない。また、本件信用格付は、デフォルト率や損失の程度を予想するものではない。本件信用格付の評価の対象には、価格変動リスクや市場流動性リスクなど、債務履行の確実性の程度以外の事項は含まれない。  
本件信用格付は、格付対象の発行体の業績、規制などを含む業界環境などの変化に伴い見直され、変動する。また、本件信用格付の付与にあたり利用した情報は、JCR が格付対象の発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものであるが、当該情報には、人為的、機械的またはその他の理由により誤りが存在する可能性がある。
7. 本件信用格付に利用した主要な情報の概要および提供者：  
・ 格付関係者が提供した監査済財務諸表  
・ 格付関係者が提供した業績、経営方針などに関する資料および説明
8. 利用した主要な情報の品質を確保するために講じられた措置の概要：  
JCR は、信用格付の審査の基礎をなす情報の品質確保についての方針を定めている。本件信用格付においては、独立監査人による監査、発行体もしくは中立的な機関による対外公表、または担当格付アナリストによる検証など、当該方針が求める要件を満たした情報を、審査の基礎をなす情報として利用した。
9. JCR に対して直近 1 年以内に講じられた監督上の措置：なし

## ■留意事項

本文書に記載された情報は、JCR が、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCR は、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果的正確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCR は、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCR は、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかんを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCR の格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCR の格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいて行っております。JCR の格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCR が保有しています。JCR の格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCR に無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

## ■NRSRO 登録状況

JCR は、米国証券取引委員会の定める NRSRO (Nationally Recognized Statistical Rating Organization) の 5 つの信用格付クラスのうち、以下の 4 クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。米国証券取引委員会規則 17g-7(a) 項に基づく開示の対象となる場合、当該開示は JCR のホームページ (<https://www.jcr.co.jp/en/>) に掲載されるニュースリリースに添付しています。

## ■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL : 03-3544-7013 FAX : 03-3544-7026

**株式会社 日本格付研究所**

Japan Credit Rating Agency, Ltd.  
信用格付業者 金融庁長官(格付)第1号

〒104-0061 東京都中央区銀座 5-15-8 時事通信ビル